

東京日本語ボランティア・ネットワーク

日本語 NETWORK NEWS

〈第5号〉

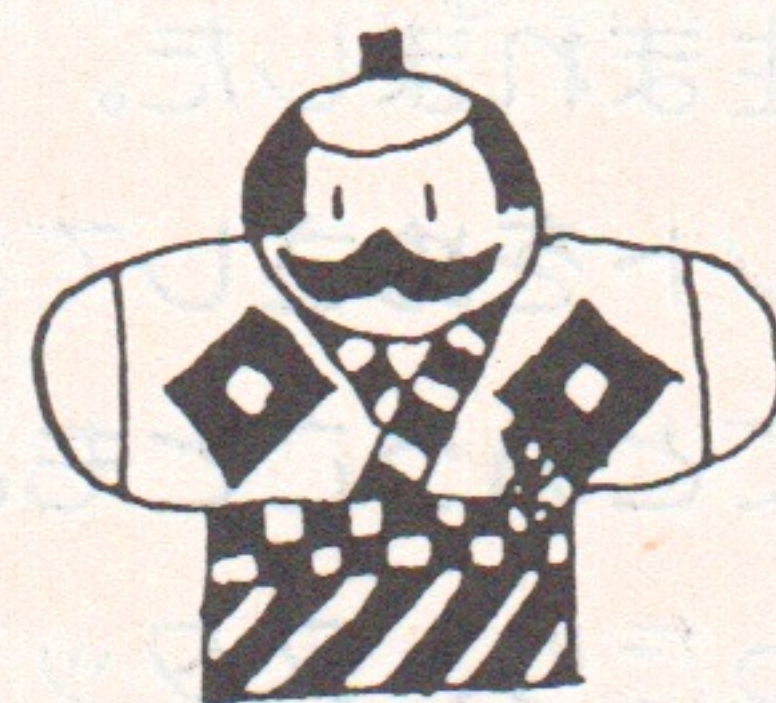
〒162 東京都新宿区神楽河岸1-1 東京ボランティアセンター気付 TEL 03-3235-1171

95年第1回交流会、にぎやかに開催！

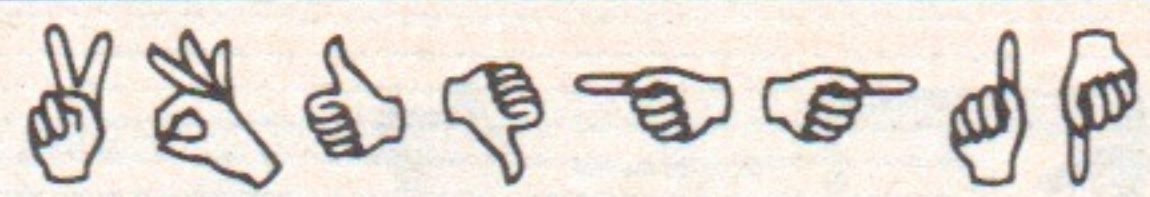


3月25日（土）に当ネットワーク主催の交流会が飯田橋セントラルプラザ10階会議室を会場に開催されました。当日はいくつかの大学では卒業式が行われるということで、また、あいにくの雨模様でもあり、参加者の出足が遅く予定より10分遅れてのスタートとなりましたが、午後からは外国人をまじえて多くの方々の参加でにぎやかな交流会となりました。今回の交流会はこれまでと少し趣向を変えて午前・午後の開催とし、午前は主として日本語ボランティアを対象にした分科会、午後は『日本を遊ぼう!』というテーマで外国人学習者にも楽しく参加していただける交流会を企画しました。

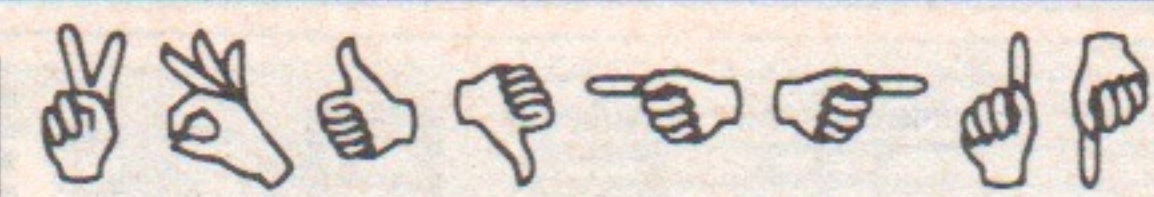
10:25 ～ 11:30	全員 分科会Ⅰ／ボランティア日本語教室事例報告「活動の中で困ったこと」 1. 日本語ボランティア「ともだち」（足立区）甲斐 武子氏 2. 八王子国際友好クラブ・日本語グループ 高橋 陽子氏 3. まちだ日本語ボランティアネット 床呂 英一氏
11:30 ～ 12:10	分科会Ⅰと分科会Ⅱに分かれる 分科会Ⅰ 前半の事例報告について質疑応答 分科会Ⅱ 日本語教材の最新事情 スリーエーネットワーク、アルク社の好意で教材の展示、説明
13:00 ～ 16:00	外国人もお子様もまじえて『日本を遊ぼう!』 デモンストレーションと実技指導（剣道、なぎなた、琉球空手） 和服の着付けコーナー 折り紙コーナー 喫茶コーナー 日本語ボランティア相談コーナー チャリティーバザー KDDフリーコール （午前に引き続き）教材展示



チャリティーバザーの売り上げの一部は、東京ボランティアセンターを通じて阪神大震災の義援金として寄付させていただきました。みなさんのご協力ありがとうございました。



95年第1回交流会のご報告



午前の部

【分科会Ⅰ】

GROUP MYST (小平市) 世古 妙

朝からあいにくの雨で出席者は少なかったものの、3団体の事例報告に始まり、各ボランティア・グループからそれぞれの問題点や悩みなどが出された。多くは活動する場所取りの苦労、経験のある日本語教師と全く素人のボランティアとの軋轢などであったが、各グループともそれぞれに試行錯誤しながら前向きに取り組んでいる姿勢が痛切に感じられた。さらに今回の分科会での収穫は、単なる事例報告や運営上の悩みのぶつけあいにとどまらず、ボランティアサイドから自主勉強会への提案があり、ボランティアの質向上へむけての第一歩がはじまりそうな予感がした。

【分科会Ⅱ】

多摩市国際交流センター 中道 恂

ボランティアによる日本語教育では授業時間数が限られ、受講者も欠席しがちである。このような授業環境では、文型表現の知識積み上げ方式の教科書は使用困難である場合が多い。このような環境で効率を上げる教材の開発がつとに望まれている。例えば海外では前回の受講を休んだ学習者でも支障のない、どの課からでも学べる形式の教材が好評を得ている。この主旨から教材は講師が状況に合わせて自作するのが一番良いが、せめて『教科書を教えるのではなく、教科書で教える姿勢の教材選びをすべき』との司会者の挨拶があった。主催者はこのような主旨の教材を選んで展示したつもりと解された。

社会人の日本語教育では中級以上は専門別日本語教育であるべきとの意見がある。参考として「日本語の教え方」(アルク)を紹介する。このなかで、高年齢者の専門性を活かせという記事がある。日本語教育は短期促成型で人為的な文章表現が強制される抽象の世界であるのに対して、目的をもって現実の社会に滞在する外国人の日本語教育では現実の社会を生きた定年退職者のボランティア講師の方が守備範囲が広いという意見。

午後の部

雨の中、多くの参加者を迎えることができ、午後の部は無事スタートしました。まず、剣道・なぎなた・琉球空手それぞれのグループにご協力をいただいての武道のデモンストレーション。目の前で見る演技の迫力に参加者も思わず息を飲んで、身を乗り出してみつめているようでした。やはりナマの迫力は写真を撮る手も止まるほどの見事なものでした。その後、参加者はふだん体験する機会の少ない武道にチャレンジ、楽しいひとときを過ごしました。子供たちは慣れない手つきで折り紙に取り組んだり、和服の着付けも用意した和服が足りなくなるほどの大盛況で「まだ脱ぎたくない」という声も聞かれるくらいでした。参加者のみなさんが「楽しかった、またやってほしい」と名残を惜しむなか、交流会を終えることができました。

☆+✽ みんなの笑顔に支えられて ✽+☆

企画担当・橋本 佳子

昨年までの交流会のイメージをくつがえすような楽しんでもらえる企画をという発想から、今回の交流会が生まれました。TNVNが何をしているのかわからないという声もある中、誰でも気軽に参加できるイベントをめざして準備を進めました。なにしろ初めてということもあり、何度も企画内容が変更になったり、スタッフの熱き戦いの日々が続きました。当日は準備の手違いなどでバタバタしたこともありましたが、それぞれのコーナーでの笑い声や笑顔を見るたびに、これまでの疲れが消えてゆく思いでした。



東京日本語ボランティア・ネットワークの シンボルマークが決定！

この3月末まで募集したTNVNのシンボルマークは、みなさん
のご協力のおかげで、9案のデザイン画の応募がありました。4月
の役員会・運営委員会でオブザーバーを含め多くの方々のご意見を
参考に検討した結果、右のデザインに決定しました。このシンボル
マークはグラフィックデザイナーの鶴田環恵さんの作品で、ほのぼ
のとしたあたたかさが伝わるやさしいデザインです。今後TNVN
の印刷物などでお目にかかる機会も多いとおもいますので、かわい
がってあげてください。どうぞよろしく。



『連絡会』は『ミニ交流会』へと変身しました

会員のみなさんに自由に参加していただき、ネットワーク活動への意見や情報を交換するための場とし
て今年から発足した『連絡会』は2月に第1回を開催しました。その際に出たご意見をもとに運営委員会
で話し合いをした結果、ひとりでも多くの会員のみなさんに気軽に参加していただくために、今後は『ミ
ニ交流会』という名称で、毎回テーマを決めて話し合いをもつことになりました。そして、当初の2か月
に1回から基本的に毎月開催へと変更。 さっそく

4月14日（金）には「勉強会」をテーマに、

5月15日（月）には「サマーワークショップ」をテーマに開催しました。

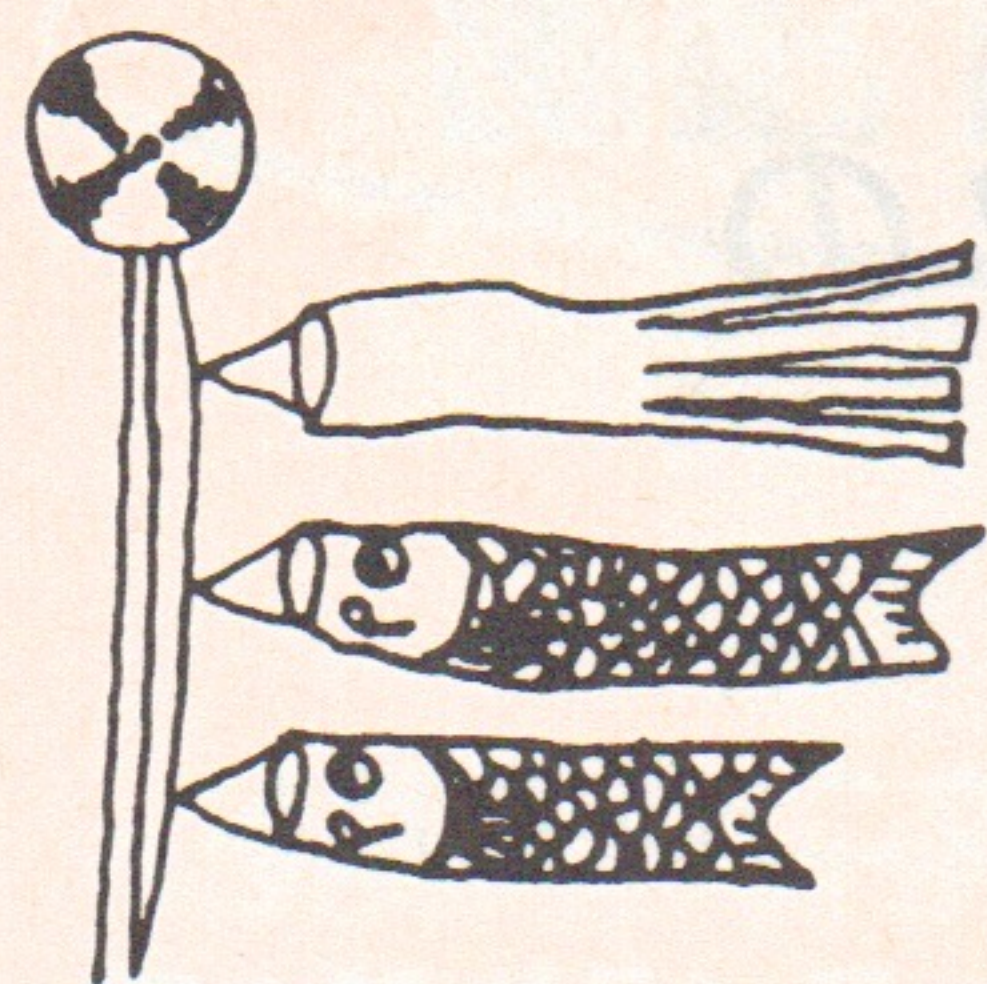
次回は6月26日（月）午後2～4時 東京ボランティアセンター（飯田橋セントラルプラザ7F）で
「行政との協力」をテーマに開催します。 どうぞお気軽にご参加ください。

ミニ講習会「新日本語の基礎の使い方」を開催しました

4月25日（火）午後1時30分から東京ボランティアセンター録音室において、(株)スリーエーネットワ
ークのご協力でスポット企画のミニ講習会が開催されました。「テキスト『新日本語の基礎』の使い方」
をテーマに、同社で教材開発を担当し、日本語教師でもある菊川さんを講師に迎えての講習会。(財)海外
技術者研修協会横浜研修センターでの実際の授業風景のVTRをまじえながら、テキストの使い方や副教
材の利用法のポイントを解説していただきました。最後の質疑応答の時間にはたくさんの参加者のみなさ
んから熱心な質問があいつぎ、有意義な講習会となったようです。

TNVNでは、今後もこのようなスポット企画の講習会を開催してゆく予定です。内容についてのご要
望がありましたら、ぜひ事務局までお寄せください。





Nice To Meet You!

会員団体のプロフィール

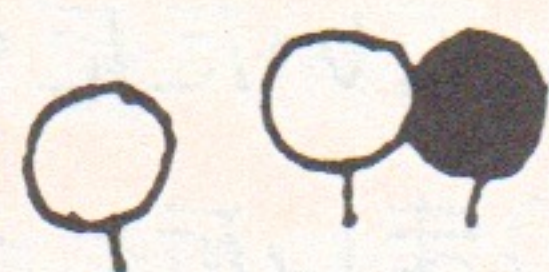
一緒に日本語を勉強しませんか？

江戸川にほんごの会（江戸川区西葛西） 矢加部 百合枝

江戸川にほんごの会は区教育委員会が主催する「日本語ボランティア養成講座」の修了生で去年11月にできたグループです。いまでは修了生だけではなく、ボランティアとしてお手伝いをしたいという人も集まり、二つのグループができました。

初めは学習者の人も少なかったのですが、いまでは人数も増えてうれしい悲鳴をあげています。試行錯誤しながら楽しく一緒に勉強しています。現在教室に来ている人たちの国はさまざまですし、日本にいる目的もそれぞれ違いますが、日本語を学ぶ気持ちは同じです。もっと日本語をおぼえたい、日本の文化に触れてみたい、お友達が欲しいという共通の課題をもっています。

私達がボランティアできることには限りがありますが、私達も勉強しながら心の触れあいを楽しんでいます。そこから生まれるお互いの信頼が日本語や日本の文化のよりよい理解に役立てばと願っています。これからも日本語ボランティアのネットワークに参加してもっと勉強をしていきたいと考えています。6月には区内めぐりのバスツアーを企画しています。日本語に関しては新人グループですが、よろしくお願いします。



役に立つ生きた日本語を

やさしい日本語（江東区） 岡田 美奈子

「やさしい日本語」は豊洲文化センターにおける「外国人への日本語教授法」の受講生を中心に、月曜午前クラスと水曜夜クラスが、91年11月「にほんごをならおう」としてスタートしました。92年10月から「パルシティ江東・女性センター」に会場を移し、月曜午前クラス「やさしい日本語」になりました。女性センターには保育室があり、2才～6才の幼児を無料で預かってもらえるので、若いお母さん達の日本語学習の心強い味方になっています。現在は入門から中級まで4クラスを7人で教えています。

去年は日本語授業だけでなく、生徒さんに講師になってもらってセンターの調理室で韓国料理の講習会を開いたり、クリスマスにはフィリピン料理によるパーティーを催したりしました。今年2月にはスポーツ会館で、全員紅白のハチマキを締めてボール送りやスプーンレースなどの球技大会を行い、皆で大声を出

し合い楽しい半日でした。これからも楽しい行事を織りまぜながら、生徒さん達の役に立つ生きた日本語学習ができる教室にしたいと思っています。

また、江東区にある7つの日本語教室の自主グループで作った「江東にほんごの会」というネットワークでは、横の連絡を取るとともに、江東文化センターの援助を受けて日本語ボランティア自身のための研修会を開いています。



名前のとおりワイワイガヤガヤ

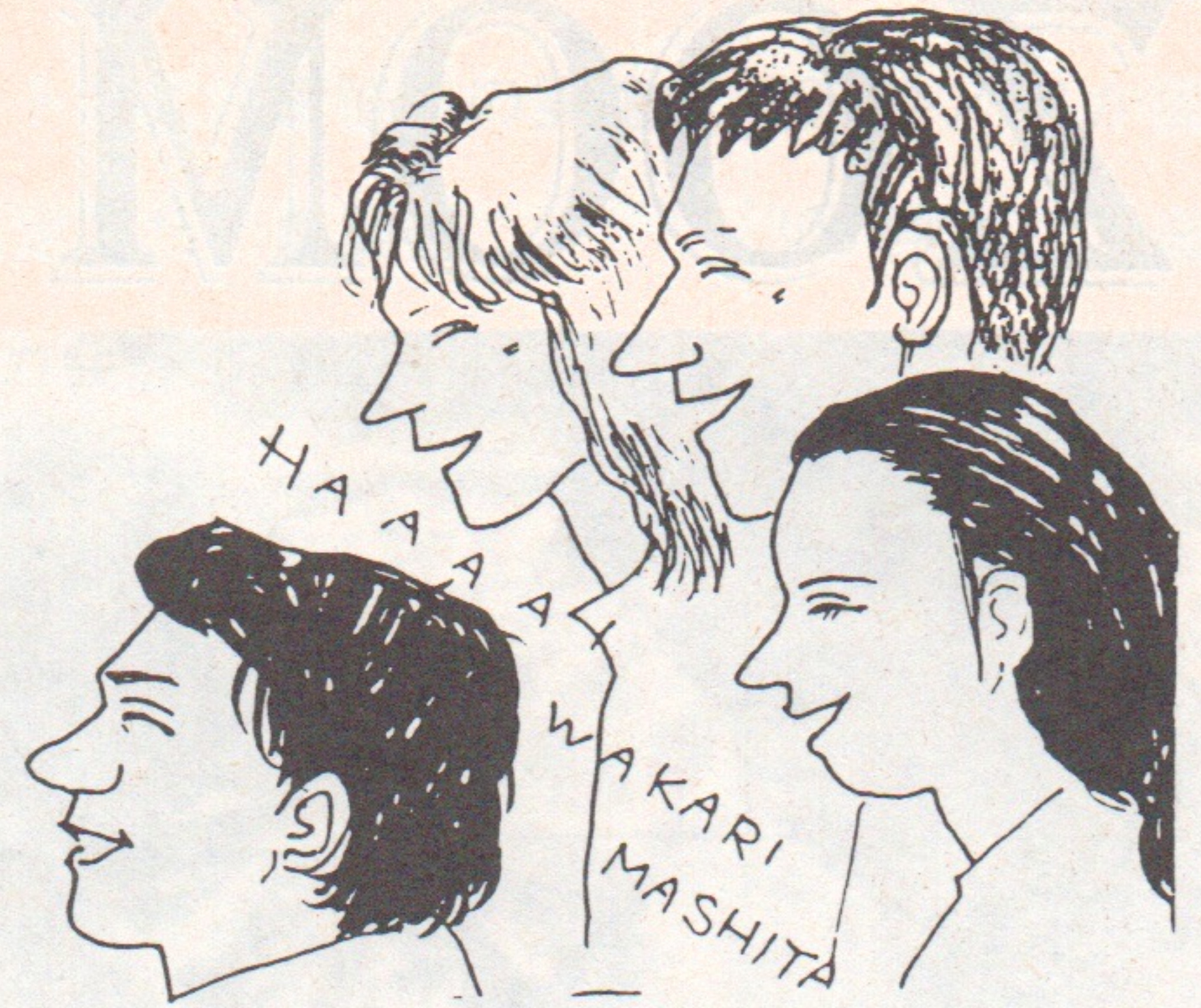
日本語グループWA I WA I (新宿区) 大沼 美樹

「日本語グループWA I WA I」は、日本語を勉強したい外国の方々と友達になって一緒に勉強するグループです。外国の方々と日本語教師養成コース終了または学習中の者の集まりです。グループの名前の通りワイワイガヤガヤ「楽しいことはいいことだ」をモットーに陽気にやっています。

去年の夏、短期サバイバルコースを開いた時、若いスイス人のMさんが嬉しそうに言いました。

「日本に来てからこのかた、日本語に取り巻かれてチンプンカンプン、全く解らない！ なにひとつ聞き取れる言葉がない！ ストレスで頭がおかしくなりそうだったわ。ところが、この教室に来たらそうでもないのね。オッ、わかる言葉があるぞ！ って。なんだかそのうちに私でも日本語でしゃべれそうな気がしてきたの。とてもリラックスできるし、よかった。」 私達もとても嬉しく思いました。

台湾から来た来日1年目のCさんは、頑張って日本語検定試験3級に挑戦し、この春一度で合格しました。その努力する姿には、逆にこちらが激励されました。他にも教えられること、気がつかされることが沢山あります。とにかく、日本人だけでなく、外国の方々と友達になれるという幸せを満喫しています。よろしかった一度覗きにいらっしやいませんか？原則として、毎週土曜日午前中、飯田橋の東京ボランティアセンター学習室をお借りしてレッスンしています。



東大和日本語の会（木曜教室）

東大和日本語の会（東大和市） 吉田 リキ子

「日本語の会」は、地域に住む外国人に対して、生活に必要な会話や日本語をボランティアで教え、学ぶ会で、1992年に発足しました。この会は日本語だけでなく、風俗習慣、文化の違いなども話し合い、理解する場でもあります。現在、登録者の国籍は10ヶ国にわたり、東南アジアの女性が大半を占めています。学習方法は、学習者のそれぞれの言語体験、能力、母語の違いなど背景が多様であり、その人の到達目標に合わせてマンツーマン方式で進めています。一時間半の学習の後、コーヒーを飲みながらのおしゃべりタイムもあり、交流の時間となっています。自分の生まれた国のこと、生活習慣など日本語で、時には自国の言葉で紹介されたりして、それがまた“生きたことば”の勉強になっています。

通常の教室内の学習のほかに

- ①見学会（上野、浅草へ）
- ②着物文化の紹介と体験の会
- ③日本の伝統文化に触れるお茶の会
- ④日本の各種季節行事
（お正月の遊び、お花見、七夕まつり）
- ⑤クリスマスパーティー等、

学習に変化をつけて楽しんで進めています。



現在は木曜教室と土曜教室があり、会費は月300円です。今後も外国人の日本語学習を支援し、教師と生徒という関係よりも「ともだち」になり、草の根の交流ができれば、と考えています。

ZOOM IN

日本語ボランティアレポート



JICA
Japan
International
Cooperation
Agency
国際協力事業団

東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル内

国際協力やODAへの関心が高まるにつれて耳にする機会が多いのが『国際協力事業団』(通称^{ジャイカ}JICA)の名前。なかでも知られているのが、海外からの研修員の受け入れや青年海外協力隊の活動ではないでしょうか。そこで今回は、そのさまざまな活動の実態や私たち日本語ボランティアとの接点についてお話をうかがってみました。

心のかよう国際協力をめざして

西新宿の高層ビルの47階、私たちが案内された会議室の窓からは抜群の眺望が楽しめました。さすがに高いところは眺めはいいけど、なんだか現実感が遠のきそう、、、ななんてことを考えながら、見たところ(?)マジメそうな企画部企画課の黒澤啓さんのお話をお聞きしました。

幅広いフィールドで援助を実施

開発途上国を支援するために政府が行っているODA(政府開発援助)は、①2国間贈与(無償資金協力と技術協力)、②2国間貸与(円借款と呼ばれる有償資金協力)、③国際機関への出資・拠出、の3つに分類されます。このうちの2国間貸与については海外経済協力基金(OECF)が担当し、2国間贈与の大部分を実施しているのが国際協力事業団です。

国際協力事業団は、前身である海外技術協力事業団と海外移住事業団を統合して昭和49年に設立された外務省所管の特殊法人。開発途上国への技術協力と無償資金協力の調査・実施促進業務を中心に、「人づくり、国づくり、心のふれあい」をキャッチフレーズとして、開発途上国の国づくりの柱となる人材養成をめざしています。そのために、途上国からの研修員の受け入れ、日本からは各種の専門家や青年海外協力隊の派遣、さらにさまざまな機器や資材の供与、調査団の派遣など、幅広いフィールドで事業を運営しています。現在、開発途上国を中心に海外の52事務所と国内21か所の拠点をもって活動しています。「世界をフィールドに仕事をしたかった」という黒澤さんも、これまでにボリヴィアとニューヨークへ赴任されたということです。

次がこれまでの事業の分野と実績です。海外への援助については、相手国からの要請が原則。要請に基づいて外務省が政策決定し、国際協力事業団が実施機関となります。

事業の分野と実績	(1993 年度実績) (人数は新規派遣)	事業の分野と実績	(1993 年度実績)
* 開発途上国からの技術研修員の受け入れ	7513 人／149 か国	* 機材供与事業	78 件／48 か国
* 開発途上国からの青年の招聘 (21 世紀友情計画)	1321 人／69 か国	* プロジェクト方式技術協力の実施	203 件／50 か国
* 技術協力専門家の開発途上国への派遣	2969 人／114 か国	* 開発計画策定のための調査	300 件／71 か国
* 青年海外協力隊の派遣	1025 人／ 60 か国	* 無償資金協力会計（実施の促進等）	236 件／83 か国
* 海外移住事業（海外開発青年の送出等）	80 人／ 8 か国	* 開発投融资の実施	10 件／ 7 か国
		* 国際緊急援助の実施 (国際緊急援助隊の派遣等)	18 件／16 か国

日本語教師の活躍の場も多彩

最近ますます注目を集める青年海外協力隊は、現地の人々と仕事や生活を共にしながらそれぞれの技術を生かして地域の社会・経済発展に貢献をしています。全国から公募される隊員は毎年約 1000 人、2 年間の任期で世界 60 か国で活躍しています。協力の分野も農・漁業から自動車整備、看護婦、教育文化、スポーツなど幅広く、現在約 160 もの職種に及んでいます。もちろん、日本語教育の分野もあって、95 年 3 月末現在で 132 人の日本語教師が派遣されています。技術と語学力をもつ 20 歳から 39 歳までの心身ともに健全な日本国籍の人ならば、学歴や性別に関係なく参加資格があるので、興味のある方はチャレンジしてみてもいいでしょうか？

もう「青年」じゃないけどという人のためには、新たに導入された「シニア協力専門家」のシステムがあります。これは 40 歳から 69 歳までの人々を対象に公募されるもので、現在派遣されている人々のなかには日本語教師も含まれています。

また、国際協力事業団での日本語教育としては、第一に海外からの技術研修員に対する日本語研修があげられます。年間約 6000 名の研修員に対し、技術研修のために日本語を必要とする研修員に昼間実施する「集中講習」と、夜間に自由参加形式の「一般講習」を実施。この研修は、主に全国 9 か所の国際研修センターで実施されていて、独自の日本語教材も開発しています。東京では幡ヶ谷の国際研修センターで行われており、前もって手続きをすれば見学することもできそうです。

(希望者はネットワーク事務局までご連絡ください)

日本での研修以外には、途上国への日本人専門家が技術協力を行う際に日本語が不可欠な場合に日本語教育専門家が派遣されます。この場合は、所管の文部省を通じて派遣されることが多いようです。さらに、海外移住者への支援事業の一環として、移住者の子弟に日本語を普及するための日本語教師の派遣や現地の日本語教師の招聘・研修などを実施しています。

国際協力事業団の今後の展望としては、年々その規模が拡大する ODA の質や効率を向上させること、環境・人口・エイズ・貧困など地球的規模の問題への対応、援助から卒業した国や卒業しつつある国に対する支援のあり方、日本の特色を生かした協力を進めるための調査・研究や人材の養成、地方自治体や N GO との連携で国民参加型の協力を促進すること、などが課題ということです。

これからもますます社会的ニーズや関心の拡大が予想される分野だけに、今後の活躍が期待されます。

(写真提供／国際協力事業団)



東海日本語ネットワークの活動と現状について

東海日本語ネットワーク 代表 米勢 治子

今年の6月で発足1年を迎える東海日本語ネットワーク（TNN）の現在の活動状況について報告します。

1. 例会

毎月第1土曜日に名古屋国際センターのサークルルームにて開催。会員であれば誰でも参加できます。

単発で参加する人にも意義ある例会にと、今年度から「話を聞く会」を例会に先立って企画しています。4月は7年前に45才で中国残留者の奥さんと2人のお子さんと共に来日した内村さんの自立への日本語習得と仕事に対する考え方を中心にお話を伺いました。

2. 会報委員会

年3回「ネットワークニュース」を発行しています。4月に第3号を出しました。この地域の日本語教室の現状報告、教室で使っている教材の紹介、教室マップ、日本語ボランティアQ&A、おしらせ欄などで紙面を構成しています。

3. 教材バンク委員会

アンケートをもとに各教室での使用教材と使用方法をデータバンク化しました。



4. 研修委員会

「新日本語の基礎」の教え方とボランティア活動に関する研修を10回シリーズで3クラス行いました。東京日本語ボランティア・ネットワークの講習会を参考にさせていただきました。

5. シンポジウム

昨年12月に日本語支援活動シンポジウム「学習者とともに日本語学習を考える」を行いました。

午前は「めだかの学校」の活動報告、午後は「こんな日本語教室あったらいいな」と題して4つのグループにわかれて話し合いました。また別のグループでは「学校と家庭」のテーマで、子供たちが日本の学校で直面するさまざまな問題について話し合いました。全体会のしめくくりとして、東京日本語ボランティア・ネットワークの福田さんより「私たちが押しつける日本語ではなく、学習者の日本語を理解することを考えたい」との提案をいただきました。

今後は学習者を含めいろいろな立場の人の参加を求めて行かなければならないと思っています。また、他の地域のネットワークとのつながりや、地域住民との連携、行政や学校とのつながり、企業への働きかけや、関連分野の団体や専門家との連携も考えていかなければならない課題だと考えています。



日本語ボランティアQ&A



日本大学講師 福田 知行

Q：私たちのグループはボランティアの数が少なくて困っています。できれば日本人1人に学習者2～3人ぐらいにしたいのですが、今のままでは1対5～6人になりそうです。

A：いろいろなグループを見てみると、日本人1人に学習者2～3人というところが多いようですが、1対1のマンツーマンや1対10～15人の教室方式のところもあります。教室方式のグループから言わせれば1対5～6人などは贅沢だということになりそうですが、学習者の立場からすれば1対1のほうが望ましいかもしれません。どちらにしろ、学習形態はボランティアと学習者の需給バランスに左右されることが多いので、それぞれの特色を生かしながら現在いる人数でやりくりしていくしかないと思われます。最近は日本語ボランティアの潜在的希望者もかなりの数に上っていますから、いろいろな広報媒体（たとえば、日本語ネットワークニュース）などで募集すればボランティアを集めるのはそれほど難しくないでしょう。



国際コミュニケーション基金からの助成金が決定



～KDDサポートプログラムの賛同者カードの記入にもご協力を！～



4月25日、基金贈呈式に出席の中田代表（前列左端）

当ネットワークでは各種の調査・研究や社会・文化活動の助成をしている（財）国際コミュニケーション基金（KDDグループ企業）に助成金の申請をしていましたが、この度、助成金の支給が決定しました。これは、地域社会の国際化やコミュニケーションの活性化をめざして、日本語ボランティア講習会の実施のために活用される予定です。

また、KDD国際電信電話株式会社では同時に東京日本語ボランティア・ネットワークのKDDサポートプログラムも実施。これは、当ネットワークの活動に賛同する方から賛同者カードを提出していただければ、その登録電話から利用した001の国際電話料金の数パーセントを当ネットワークの活動資金としてKDDが援助してくださるというプログラムです。会員みなさんのご協力で、賛同者カードの登録者数や国際電話の利用件数も月ごとに増加。3月には、これまでの001利用分に対する支援金をいただきました。しかし現状の賛同者数は、当ネットワークの会員数からみればまだまだ少ない数といえます。この機会に国際電話を利用する友人・知人などにも積極的に呼びかけて、ぜひ多数の賛同者を募っていただきたいと思います。

なお、賛同者カードが足りなくなった場合は、事務局までハガキかファックスでお知らせください。

新企画は1泊2日のサマーワークショップ

この夏はTNVN初の宿泊プランとして、1泊2日のサマーワークショップを開催します。

8月26日（土）・27日（日）

代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターを会場に開催。

詳しい内容は現在企画中ですが、

1日目は日本語ボランティアを対象に交流を兼ねた勉強会を、また

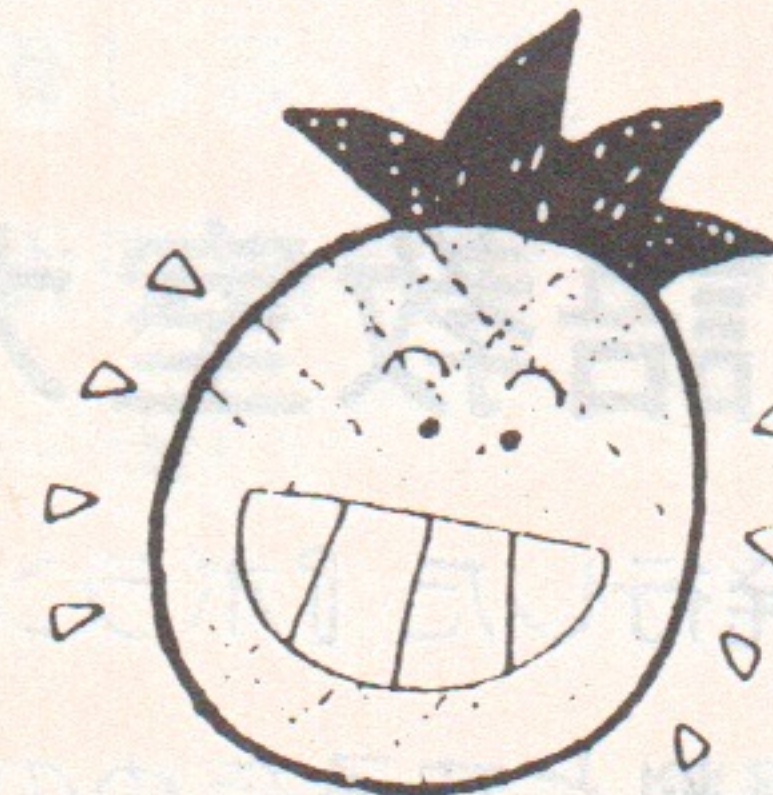
2日目は外国人の方にも参加していただき体育館でのスポーツなども予定しています。

もちろん、日帰りでの参加や都合のつく時間だけの参加也大歓迎。

夏休み最後の週末をみなさんで楽しく過ごしましょう。

多くの会員の方に参加していただける企画を検討中ですが、

このワークショップの企画に参加してみようと思いの方は事務局までぜひご連絡ください。



Welcome

新入会員のご紹介

日本語ネットワークニュース3号では1994年10月までに加入されたみなさんをご紹介しましたので、ここでは94年11月以降に加入された会員の方々をご紹介いたします。（敬称略）

- ◆団体会員 グループS・A・Y（秦野市）、世界日本語クラブ（千代田区）、府中国際交流サロン日本語教室（府中市）
 - ◆協力会員 西口光一、藤井晶子、赤坂のり子、小川伶子、信長慶子、藤原博子、世古 妙、渡辺昌人、番田由美子、伊藤泰子、山崎好彦、山本恵子、野沢美紀、酒井雄市、浦田光雄、小牧千春、佐藤 希、野辺重雄、渡辺泰子、沢 公子、高橋美智、鈴木恭郎
- 1995年4月末現在の会員数は、団体会員72団体、協力会員78名、賛助会員7団体です。

NETWORK INFORMATION

T N V N 日本語勉強会がスタート

4月の『ミニ交流会』での話し合いの結果、T N V Nの日本語勉強会がスタートすることになりました。日本語ボランティアを始めた人が直面するさまざまな問題点や疑問について、みなさんで話し合いましょう。また、テーマによってはゲストを迎えてお話をうかがったりなど、参加者の希望に応じて展開する予定です。興味のある方はどうぞ参加下さい。

◆日 時／第Ⅰ期は5月26日から7月14日の毎週金曜日午後2～4時

◆場 所／東京ボランティアセンター録音室（飯田橋セントラルプラザ7F）

◆参加費／1回300円程度

日本語ボランティア相談と入門講座を開催中

すでにお知らせしたように3月から『日本語ボランティア相談窓口』を、

4月からは合わせて『日本語ボランティア入門講座』をスタート。

日本語ボランティアへの関心の高まりとあいまって、毎回盛況のうちに開催しています。今後も右記のスケジュールで開催の予定ですので、興味のある方は直接会場へおいでください。

◆場 所／東京都生涯学習情報センターセミナー室
（JR／地下鉄、有楽町駅下車3分）

◆参加費／入門講座は1回600円（相談は無料）

日 時	相談窓口	入門講座
5月23日(火)	午後5～6時	午後6～8時
6月13日(火)	午後1～2時	午後2～4時
6月27日(火)	午後5～6時	午後6～8時
7月11日(火)	午後1～2時	午後2～4時
7月25日(火)	午後5～6時	午後6～8時

『日本語教室ガイド』のアンケートにご協力を

事務局では、昨年発行した『ボランティア日本語教室ガイド』の改訂版をこの秋に発行の予定で準備をすすめています。改訂版の資料とするためのアンケート用紙を先日お送りしましたが、すでにご返送いただきましたか？4月を迎えて団体の代表や連絡先等の変更も多いかと思います。最新の情報を誌面に反映させるために、また情報を確実にお届けするためにも、まだお送りいただいてない団体は速やかにご返送ください。また、T N V Nに未入会の教室をご存じでしたら、お知らせください。日本語学習者のために情報の量をもっと増やしましょう。

95年会費の納入はお済みですか？

大部分の会員の方からはすでに95年会費を納入していただきましたが、まだお済みでない場合は、お送りした払い込み用紙で郵便局から、もしくは下記の銀行口座までご送金ください。

よろしく願いいたします。

◆振込先／富士銀行飯田橋支店

普通講座1506445

（口座名）東京日本語ボランティア・ネットワーク

T N V Nへの問い合わせ・申し込み等は
下記まで郵便またはFAXでお願いします。

東京日本語ボランティア・
ネットワーク事務局

〒162 東京都新宿区神楽河岸1-1

東京ボランティアセンター気付

FAX: 03-3235-0050

Bulletin Board

『世界日本語クラブ』で学習者を募集中

この6月より新たにボランティア日本語教室活動をスタートする『世界日本語クラブ』では、外国人学習者を募集しています。近くにお勤めの外国人をご存知の方はぜひご紹介ください。

*日時/毎月第1・3月曜日の午後6時～7時45分

*場所/東京都生涯学習情報センター(東京都丸の内庁舎4F)有楽町駅下車3分

*費用/1か月500円

*連絡先/広谷知美 ☎0474-84-7018 星合恵美子 ☎03-3601-0815

『小平日本語クラブ』が『GROUP ^{ミスト} MYST』に名称変更

『小平日本語クラブ』はこの3月から『GROUP ^{ミスト} MYST』へと名称を変更。新たにスタッフを加えて、これまで以上に自由な発想で活動の幅を広げてゆくつもりです。

“外国の方と「お隣さん」のつきあいを”をモットーに、外国人のための料理教室、井戸端会議、そして「日本語ボランティアとして活動したいけれど、実際に教えるってどんなこと？」という悩み、不安をもっている方のための勉強会、講習会も企画したいと考えています。

*連絡先/松本智子 ☎0423-27-0281 アレン(山崎)美智子 ☎0423-45-6358

外国語による医療情報サービス

東京都保健医療情報センターでは、外国語による医療情報サービスを行っています。「日本の医療制度の案内」や「外国語で受診できる医療機関の紹介」などの問い合わせに、相談員が外国語で応じていますので、ぜひご利用ください。

*電話番号/03-5285-8181

*対応日時/月曜日～金曜日(祝日は除く)の午前9時～午後5時

*対応言語/英語・中国語・ハングル・タイ語・スペイン語

『ウィークエンド世界の遊び』へどうぞ

国立オリンピック記念青少年総合センターでは、世界各国の人たちとさまざまな遊びを楽しみながら交流する『ウィークエンド世界の遊び』を毎月開催しています。小・中学生とその家族の方ならだれでも参加できますので、ふるってご参加ください。

◆場 所/国立オリンピック記念青少年総合センター 国際交流館 交流プラザ

◆交 通/小田急線・参宮橋駅下車、徒歩5分/地下鉄千代田線・代々木公園駅下車、徒歩11分

◆参加費/100～500円程度(保険料・教材費など)

◆申し込み・問い合わせ/

◆日 時/6月24日(土)午後2時～4時(ネパールの遊び)

国立オリンピック記念青少年総合センター

7月 8日(土)午後2時～4時(ペルーの遊び)

研修協力課『ウィークエンド世界の遊び』係

9月 9日(土)午後2時～4時(ナイジェリアの遊び)

〒151 渋谷区代々木神園町3-1

10月14日(土)午後2時～4時(インドネシアの遊び)

☎03-3467-7201(代)

SPECIAL THANKS TO

ありがとうございました...

◆3月25日のTNVNの交流会では以下の方々にご協力をいただきました。

*剣道／石川俊行さんはじめ4名のみなさん *なぎなた／財津日出子さんはじめ7名のみなさん

*琉球空手／上地哲さんはじめ3名のみなさん *折り紙／野口美年子さん

*日本語教材の展示／(株)アルク様／(株)スリーエーネットワーク様

◆国際協力事業団（JICA）様／ニュースレターの取材に快く応じていただきました。

◆KDD国際電信電話(株)様／交流会の際のフリーコーナー、サポートプログラムによる支援金
ニュースレターの印刷などにご協力いただきました。

FROM EDITORS

何年もゴールデンウィークというものを
知らずに生活していたが、今年は
1週間のんびりあることができました。
エネルギーもたまりましたし、そろ
そろ腰も上げなうちゅー！
(19-ランクー)

お正月から始つて
お祝い。祭りといふ
いふとん 遠くまで
5月。GW。も
あつと云う間に
終つてしまつた。
ゆづくりの箸を
VJ

今年のゴールデンウィークは
よ、金を使いたくない。
叔父宅を訪問して。
ニ、ちやうどにたつた。(阿婆)

法事・見舞・旅と盛りだくさんの
4Wであった。身体も忙しかった
お金も忙しかった。(14)

「うちのママはひとり何役やってるのかな？」
我子のつぶやきに指を折ってみた。子供の日。

仕事もボラソアも忙しか、た
G.W.が終わった。
これから遊ぼう!!

毎週月曜日、マチャリで
ボランティアセンターに通って
います。道すがら、萱花と
若葉をタンノウしています。



二の連休は
家庭サービスに
徹しました。(4)

編集後記

➡ 交流会も終わり、ネットワークニュースも発行にこぎつけ、「あ～、ひと段落」と思うのもつかの間、TNVNは休むことを知らない。もう次の講習会などの企画が始まっている。再び熱き戦いの日々である。

➡「ネットワーク2年目の今年はゆっくりと足元を固めていこう。」確かそういう話をしていたはずだけど、『ゆっくり』どころかなぜかますます忙しい今日このごろです。

➡ 忙しい、忙しいと言いながら、スキをみてイタリア、ギリシャ、タイ、シンガポール、スペイン、アメリカ、、、と交替、交替に外遊してくるスタッフたち。それでいて京王線なんて田舎線に乗ったことないなんて～。一度国際交流の草分けの地『多摩』に来てみてよ。